

理系

筑波大学生命環境学群生物資源学類

1. 他に合格した大学

明治大学農学部（セ）／立教大学理学部（セ）

東京農業大学応用生物科学部（セ・一般）／東邦大学理学部（セ・一般）

2. 進路選択の理由

私はまず国立大学の生物学系の学部に行きたいと思っていました。国立はカッコいいという私個人の勝手なイメージと、生物に興味があったということが理由です。他にも立地やキャンパスの雰囲気を考えて、筑波大学を目指すことにしました。合格後は嬉しい気持ちはありましたが発表前の不安感が消えずに素直に喜ぶことができませんでした。

3. 各学年における学習、授業等で大切なことについて

一年生の時は勉強についてあまり深く考えていませんでした。授業は普通に聞いて、課題は全て出すよう心がけていました。2年生の夏からは平日4時間、休日は午前の部活動終了後6時間程度勉強していました。三年生になり部活を引退してからは平日6時間、休日は多い時には12時間勉強していました。生物と化学に関しては参考書でまず勉強し、学校の授業はそれらを復習するつもりで受けていました。試験前の一週間は試験勉強二割と受験勉強八割というイメージを持っていました。また自分には必要ないと思った課題はやらないこともありました。

4. 各学年における長期休業期間中の過ごし方について

一年生のときは課題を提出し、それ以外は何もしていません。二年生のときは学校の課題と英語の受験勉強をしていました。一日5、6時間していたと思います。三年生のときは学校の課題がなかったため多い日で一日12時間受験勉強をしていました。

5. 業者模試（校外）について、その活用、効果等について

私は予備校に通っていたのでその予備校の模試は全て受け、あとは匝瑳高校で行う模試を受けていました。その翌日は模試の復習をしました。センター試験は慣れることが大切ですので、他にセンター形式の問題集等を持っていないのならば貴重なセンター模試は熱心に復習するべきだと思います。

6. 使用してよかった参考書

<英語>ハイパートレーニング和文英訳編<国語>現代文ゴロゴセンター試験編／古文上達

<生物>理系標準問題集（二次・一般）<化学>重要問題集

<現代社会>新マンガゼミナール現代社会／マーク式基礎問題集現代社会

7. タイムスケジュール

AM				PM												AM											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
睡眠			支度 登校		勉強		学校、部活												勉強		帰宅、 夕食等		勉強		睡眠		

8. その他

私は一度に多数の参考書を進めないようにしていました。基本的には二科目ずつです。こうすることで結果が見えやすく、やるべきことがはっきりして良かったと思います。

志望校を聞かれた際「できれば〇〇大学」と言っている様では受かりません。絶対に合格するのだという思いで受験勉強に取り組んでください。皆さんの健闘を祈っています。